

モノ・コトづくりのクオリティの追求

オカムラグループは、「よい品は結局おトクです」をモットーに、グローバルな視野で品質と安全性の向上に努めると同時に、地球環境にも配慮し、お客さまのニーズに的確に対応しながら、オフィスをはじめ教育・医療・研究・商業・物流施設などさまざまなシーンにおいて、製品のあるべき姿と最適な空間づくりを追求し続けます。

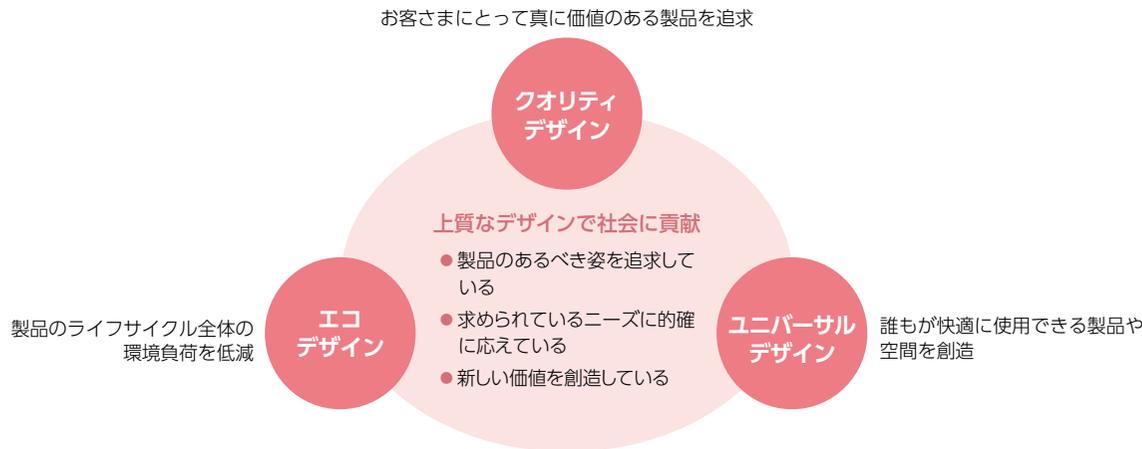
オカムラグループのデザインポリシー

オカムラグループは、誰もが豊かさを実感でき、次代へより良い環境を引き継げるよう、ものづくりにこだわり、上質なデザインの実現を目指しています。

創業以来「人間の環境づくり」をテーマに培ってきたハードとソフトに関するノウハウをベースに、さまざまなシーンにおいて

魅力ある環境を創造していきます。その実現のためには、「クオリティデザイン」「エコデザイン」「ユニバーサルデザイン」の3つの視点が重要であるという考えに基づき、製品開発を進めています。

オカムラグループのデザインポリシー



クオリティデザインの追求

オカムラグループは製品の本質を追求し、お客さまにとって真に価値ある製品を提供することを目指しています。製品のあるべき姿を求めて、ものづくりを極め、魅力ある新たな価値を創造します。具体的には、安全性の確保はもとより、人間工学*に基づいた設計をはじめ、快適性の向上、創造性を高める環境の実現などに取り組み、常にお客さまのニーズに的確に応えられるような製品開発を行っています。

* 人間工学：人間の身体的、認知的、組織的な特性を理解し、さまざまな製品・環境・サービスに適応させるための科学分野

エコデザインの追求

オカムラグループは、原材料の選択から使用後の処理まで、製品のライフサイクル全体において環境負荷がより少ない製品を開発し、お客さまに提供することで、持続可能な社会づくりに貢献します。そのために、製品の企画・デザイン・設計の各段階で製品アセスメント*を実施するとともに、独自の環境基準による認定を行っています。（関連 ▶ P.61）

* 製品アセスメント：より環境負荷の少ない製品を開発するために、製品の開発、設計段階で、その製品が環境に与える影響を評価すること

| モノ・コトづくりのクオリティの追求 | イノベーションの推進と新しい価値の創出 | 安全で高品質な製品・サービスの提供 | ものづくりを支える人財育成 |

オカマラのものづくり思想「サーキュラーデザイン」 「カーボンニュートラルデザイン」

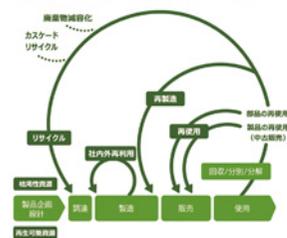
製品開発における考え方として「サーキュラーデザイン」と「カーボンニュートラルデザイン」を策定しています。「サーキュラーデザイン」は、サーキュラーエコノミー（循環型経済）の概念に基づき、製品企画・設計から調達、製造、販売、メンテナンス、リユース・リサイクルに至るまでの製品ライフサイクルの中で、限りある資源をより長く有効に使用し、廃棄物の発生を最小化するものづくりを目指す考え方です。「カーボンニュートラルデザイン」は、製品の原材料調達から製造、販売、使用、廃棄まで、製品ライフサイクル全体でCO₂の排出量を最小化するものづくりを目指しています。

オカマラグループは、製品ライフサイクル全体で環境負荷を低減した製品開発をさらに推し進め、CO₂排出量の削減により積極的に取り組んでいます。（関連 [▶ P.60](#)）

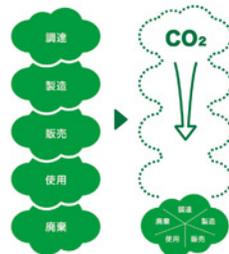
GREEN WAVE

目指すべき姿

地球環境への配慮を徹底し、持続可能な社会づくりに貢献します



サーキュラーデザイン

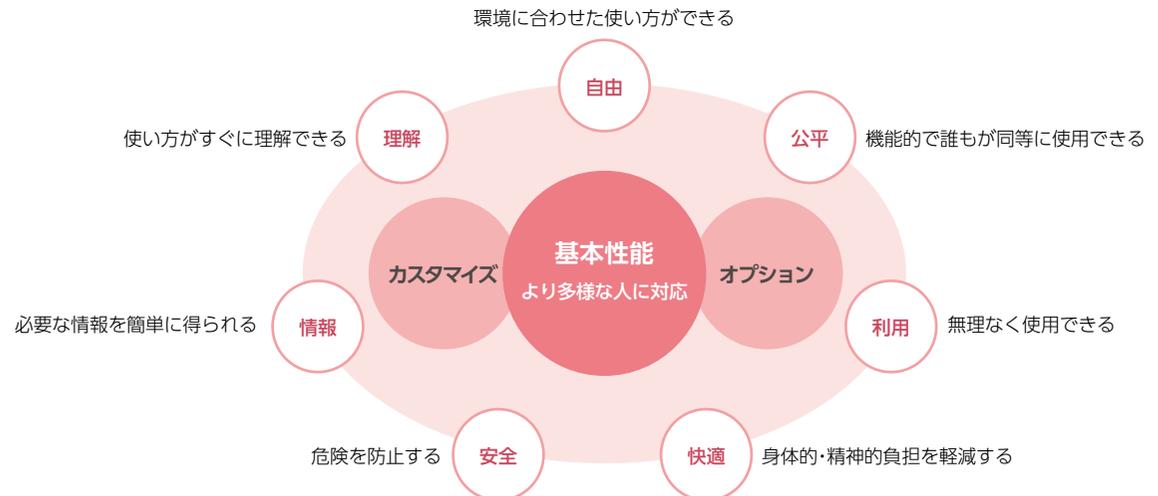


カーボンニュートラルデザイン

ユニバーサルデザインの追求

オカマラグループは、誰もが豊かさを実感できるデザインを追求し、製品と空間を使用すると考えられる多様な人を想定して開発を行っています。製品の基本性能を高めるとともに、オプションの追加やカスタマイズにより、安全性や快適性、適応性、分かりやすさ、情報へのアクセスなど、全てのユーザーにとって使いやすい製品と空間を提供することを目指しています。

オカマラグループのユニバーサルデザインの考え方



ユニバーサルデザインの普及に向けた取り組み

オカマラは、一般財団法人国際ユニバーサルデザイン協議会（IAUD）に設立時より参画し、国際会議への協賛や協議会活動への支援を行っています。同協議会は、ユニバーサルデザインのさらなる普及と実現を通じた、社会の健全な発展と豊かな暮らしづくりを目指して活動しています。

デザインポリシーに基づく製品開発

関係性構築のきっかけとなる新たな交流を促す ラウンジスペースに向けた製品開発

人材の確保や社員のエンゲージメント向上などの経営課題に対して、オフィス移転や改装の際に働きやすい環境やデザイン性の高い空間を構築することで、社員の生産性向上やモチベーションアップにつなげる企業が増えています。

オカムラでは、多様な仕事を最適に行うためにオフィスにはワーカーが選択できる多様な空間が必要であると考え、その一つとしてラウンジスペースを提案しています。ラウンジスペースは、リラックスできる落ち着いた雰囲気や気分を変えて執務作業をしたり、部門や会社を超えたさまざまな人が集まることでネットワークを拡げたり、社外の人とオープンに交流するなどのコミュニケーションがとれる場です。内装や設えにこだわったデザイン性の高い空間や、コミュニケーションによる新たな関係性の構築により、仕事へのモチベーションアップや業務の円滑な進行による生産性向上、イノベーションの創出が期待できます。そういったラウンジスペースに設置する、ラウンジテーブル「Symphonia (シンフォニア)」とソファシリーズ「CLARK (クラーク)」を開発しました。「Symphonia」は、天板形状のデザインによって気軽な交流や偶発的な出会いを

生み出す工夫とともに、脚部に曲面を取り入れることで、空間の象徴的な存在となるようデザインしています。「CLARK」は、シェルフやプランターボックスなどを組み合わせた個性的なレイアウトや配置形状により、人を集め出会いと会話のきっかけを生み出します。

多様化する働き方とニーズに対応した製品開発

「TELECUBE by OKAMURA (テレキューブ by オカムラ)」は、さまざまな場所に設置できるフルクローズ型のワークブースです。2018年12月の発売以降、オフィス内やオフィスビルエントランス・駅・空港・商業施設などの公共空間、学校、自治体などに数多く導入されています。ウェブ会議や集中作業、打ち合わせなどのほか、出張時の空き時間のちょっとしたPC作業やウェブ会議、大学のウェブ講義の受講や就職活動のウェブ面接、個人情報扱う相談ブースなど、活用される場面も用途と共に多様化しています。

コロナ禍を経て、オフィスへの出社が増えてきており、会議や打ち合わせの増加、チームで集まってコミュニケーションをとる空間として会議室や個室の必要性が高まっています。オカムラは、「TELECUBE by OKAMURA」シリーズ最大サイズの多人数用を開発。壁・床・天井への設備工事など大掛かりな工事が不要で、会議室や個室として4～6人で使用可能です。

ミーティングや立ち会議、プレゼンテーション、マネージャー室などの個室、休憩スペースなどさまざまな用途に利用できます。設置する空間や用途、家具に合わせて内装や色をコーディネートでき、快適な個室環境を提供します。

売り場の雰囲気を損なわないデザインで効率的な 店舗づくりに貢献する多目的カート

スーパーマーケットやドラッグストアなどの小売店舗では、在庫管理や品出しにそれぞれ専用のカートや台車を使用しています。店舗によっては、催事などで簡易的に陳列を増やす際、作業専用カートをそのまま陳列什器として代用することもあります。陳列用としての使い勝手や来店客からの印象、売り場の内装、雰囲気などは考慮されていません。

こうした背景を踏まえ、オカムラは、多目的カート「Shelfer (シェルフアー)」を開発しました。ブラックで統一したスマートなデザインと、 Gondola (陳列棚) の豊富なアタッチメントが活用できる機能が特徴です。「Shelfer」は、売り場の内装や雰囲気に調和するきれいな商品陳列だけでなく、品出し作業やバックヤードでの在庫管理にも対応しています。さらに、未使用のアタッチメントを整理・保管する備品管理にも活用できます。1台で商品陳列から在庫管理、品出し、備品管理までをカバーできるため、さまざまな用途に柔軟に対応でき、効率的で魅力ある店舗づくりに貢献します。



ラウンジテーブル
「Symphonia (シンフォニア)」



ソファシリーズ
「CLARK (クラーク)」



「TELECUBE by OKAMURA
(テレキューブ by オカムラ)」多人数用



多目的カート
「Shelfer (シェルフアー)」

物流現場での作業のさらなる自動化を促進

多頻度小口化など物流サービスの多様化にともなう作業量増加と労働人口の減少により倉庫内作業の自動化、省力化のニーズが高まっています。

オカムラは、シャトル（搬送台車）がラック内を走行し荷物を載せたパレットの高密度保管を実現するパレット保管システム「CYBISTOR(サイビスター)」の新タイプとして、「CYBISTOR自動倉庫タイプ」を開発しました。これまでフォークリフトで行っていたパレット品の入出庫作業やシャトルの間口移動をスタッカークレーンが行い、入庫・保管・出庫まで一連の作業を完全自動化します。荷物の取り違えや落下による破損などの人的エラー削減のほか、前後の搬送工程と合わせた自動化で製造ラインとの直結が可能となり、生産性向上や24時間稼働のニーズに対応できます。また、フォークリフトが届かない高所までパレットを運び格納することができるため、保管量もさらに増加できます。ロット単位での管理や少品種大量保管が求められる生産・流通現場における、スペース不足や人手不足などの課題解決に貢献します。



パレット保管システム「CYBISTOR(サイビスター)自動倉庫タイプ」

人間工学に基づいて好ましい学習姿勢をアシストする子ども向け学習家具

ハイブリッドワークの普及など働き方が大きく変化し、在宅ワークが定着する中で、改めて自宅の机や椅子といった家具への関心が高まっており、子どもが使う学習家具の機能性や快適性にも注目が集まっています。近年、スマートフォンなどのデジタル機器の普及やコロナ禍による運動習慣の減少に伴い、猫背やスマホ首といった姿勢の悪い子どもたちが増えています。オカムラは、オフィス向け製品の開発で培った知見を生かし、人間工学に基づいて好ましい学習姿勢をアシストする子ども向け学習家具「mirumio(ミルミオ)」を開発しました。「mirumio」は、「子どもの成長に合わせて、家具も成長する」をテーマに、小学生から高校生まで長く使うことを想定したデスクとチェアです。一年で大きく変化する子どもの身体に合わせて、デスクの高さやチェアの座面位置などを簡単に調節できます。大人になっても使えるようインテリアになじむシンプルなデザインが特徴です。

学習家具は、多くの子どもにとって初めての自分専用の机や椅子です。「mirumio」を通じて子どもたちに自分が使う家具を選ぶことの楽しさに触れてもらい、家具について考えるきっかけを提供します。



子ども向け学習家具「mirumio(ミルミオ)」

オカムラ独自の基準による、製品へのマーク表示

オカムラでは、独自の取り組みを表すマークを製品とともにカタログに表示し、お客さまへの提案に生かしています。

人が健康でかつ快適に過ごせる場であるかどうかを評価するシステムであるWELL 認証*が、オフィス空間の評価基準として国際的に広がりを見せています。オカムラでは、「WELL 認証」の取得をサポートするため、健康的に働く場を提案する製品に「WELL PLUS」マークをつけてお客さまに提案しています。

また、環境に配慮した製品として、オカムラ独自の環境基準を満たした製品に「GREEN WAVE」「GREEN WAVE+(プラス)」マークを表示しています。(関連 [▶P.61](#))

* WELL 認証：米国の公益企業IWBI (The International WELL Building Institute) により2014年にスタートした評価システムで、人の健康とウェルビーイング(身体的、精神的、社会的に良好であること)に影響を与えるさまざまな機能をパフォーマンスベースで測定・評価・認証する



WELL PLUS

「WELL PLUS」マーク



「GREEN WAVE」「GREEN WAVE+」マーク

社会からの評価

オカムラグループは、ものづくりにこだわり、お客さまに満足いただける製品を社会に送り出してきました。機能性や安全性、耐久性、信頼性などと同時に外観の美しさを重視し、製品のあるべき姿を追求する、という開発に対する姿勢は国内外で高く評価され、これまでに数々の表彰や選定を受けています。2024年度は多くの製品と空間が国内外のデザイン賞などにおいて高い評価を受けました。

Best of NeoCon*

Best of NeoCon 2024 SILVER AWARD 受賞

(2024年6月)

- シーティング [Spectra (スペクトラ)]

* Best of NeoCon: 北米最大の商業インテリアの展示会「NeoCon (The National Exposition of Contract Furnishings)」に出品された製品のうち優れた製品に与えられる賞



HiP Awards at NeoCon*

HiP Awards 2024 at NeoCon Workplace: Task Seating部門 Winner 受賞

(2024年6月)

- シーティング [Spectra]

* HiP Awards at NeoCon: 米国のINTERIOR DESIGN誌が主催し、2024年で11回目を迎える表彰プログラム。北米最大の商業インテリアの展示会「NeoCon」発表製品とデザイナーなどの業界で活躍する人々の中から選定され、カテゴリー別に革新的な製品や業界への功績を称えている



グッドデザイン賞*

2024年度グッドデザイン賞 受賞

(2024年10月)

- クリエイティブファニチュア [WORK ISLE (ワークアイル)]
- 電動昇降デスク [Swift Nex (スイフト ネックス)]
- ラック作業台 [CROSCO (クロスコ)]

* グッドデザイン賞: 公益財団法人日本デザイン振興会が主催する1957年に創設された日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組み。デザインを通じて産業や生活文化を高める運動として、国内外の多くの企業やデザイナーが参加している



German Design Award*

German Design Award 2025 Excellent Product Design部門 Winner 受賞

(2024年11月)

- シーティング [Spher (スフィア)]
- シーティング [Spectra]

German Design Award 2025 Excellent Architecture部門 Winner 受賞

(2024年11月)

- [NeoCon 2024] におけるオカムラの展示
- * German Design Award: ドイツデザイン評議会により2012年に設立された顕彰制度で、「Excellent Product Design」と「Excellent Communications Design」、「Excellent Architecture」の3つの部門で構成。優れたデザインとして一定の評価を受けた作品の中から、ドイツデザイン評議会が参加作品をノミネートするため、ノミネート自体が名誉とされる



JIDAデザインミュージアムセレクション*

JIDAデザインミュージアムセレクション vol.26 選定

(2024年11月)

- クリエイティブファニチュア [WORK ISLE]

* JIDA デザインミュージアムセレクション: 公益社団法人日本工業デザイン協会 (JIDA) が、「美しく豊かな生活を目指して」をテーマに、工業デザインが社会に寄与する質の高い製品を選定し表彰するとともに、その製品を次世代に伝え、教育、産業、生活へ文化的貢献を行うことを目的に、その時代において特に収蔵しておきたいデザイン性の高いものを選定し、発表・展示・記録を行っている



Best of Year Awards*

Best of Year Awards 2024 Contract Conference/Task Seating部門 Honoree

(2024年12月)

- シーティング [Spectra]

* Best of Year Awards: 米国のINTERIOR DESIGN誌が主催する国際的なデザイン賞。作品カテゴリー別にその年の革新的なプロジェクトと製品を表彰する



iF DESIGN AWARD*

iF DESIGN AWARD 2025

Interior Architecture部門 受賞

(2025年3月)

- 「NeoCon 2024」におけるオカムラの展示

* iF DESIGN AWARD:iF International Forum Design GmbH が主催し、毎年全世界の工業製品の中から優れたデザインに与えられる世界的な権威のある賞



Red Dot Award*

Product Design 2025 受賞

(2025年4月)

- シーティング「Abilis(アビリス)」

* Red Dot Award:ドイツの「Design Zentrum Nordrhein Westfalen(ノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンター)」が主催し、1955年に創設された国際的に権威あるデザイン賞の一つ。同賞は、プロダクトデザイン、ブランド&コミュニケーションデザイン、デザインコンセプトの3分野からなり、それぞれ大会が行われている



reddot winner 2025

ウェブサイト「Make with オカムラのものづくり」では、オカムラのものづくりにおける企画・研究・リサーチ、デザイン、製造の過程や様子、さまざまな製品の開発に至る経緯や想いが語られる「Product Story」、受賞したアワードと製品の一覧「Award」などを掲載しています。

 Make with オカムラのものづくり
<https://www.okamura.co.jp/corporate/products/makewith/>

TOPICS

シカゴ「NeoCon 2024」の展示において
「To the last detail.」を表現

「NeoCon 2024」は、オカムラが毎年出展している北米最大の商業インテリアの展示会です。2024年6月10～12日にシカゴ(米国・イリノイ州)で開催されました。

「To the last detail.」は、製品の裏側や細部、制作プロセスなど、目に見えないところにまで細やかな心づかいを積み重ねるオカムラ独自の思想を意味する、グローバルにおける新たなブランドコンセプトです。この「To the last detail.」をテーマに、「インスタレーション」「エンジニアリング」「シーン」「フィーリングルーム」の4つのエリアを設置。新しい素材による座り心地の体感や完成品からは見えにくい座面裏側にある隠れた美しさ、背もたれの中に潜むクラフトマンシップを感じる紹介など、さまざまな角度からオカムラ製品を展示しました。

この展示は、国際的に権威のあるドイツのデザイン賞「German Design Award 2025」の「Excellent Architecture」部門においてWinner(優秀賞)を、「iF DESIGN AWARD 2025」の「Interior Architecture」部門を受賞しました。オカムラはこれまで数多くの製品が「German Design Award」「iF DESIGN AWARD」を受賞していますが、空間デザインでの受賞は初めてとなります。



エントランス「インスタレーション」エリア



シーティングの内部構造やパーツのこだわりを表現した「エンジニアリング」エリア